

実施概要

開催日時：令和2年9月15日 18時～20時 参加者数：11名（A・Bの2グループで実施）
開催場所：小金井市市民会館(萌え木ホール)A・B会議室

意見のまとめ

- ①市内の自然環境や近隣とのコミュニティに関して、住みやすいと感じている方が多い
 - ・「住みやすいと感じるところ」については、「大きな自然豊かな公園」「子供達が遊べる小川や岸边」といった**自然環境に関する項目**や、「町会・自治会の交流」「近所のつながり」などの**コミュニティに関する項目**が、両グループで複数挙げられた。
- ②道路整備や空き家に関して、住みづらいと感じている方が多い
 - ・「住みづらいと感じるところ」については、両グループとも「道路が狭い」「自転車レーン」といった**道路整備に関する内容**が挙げられた他、「空き家の問題」として**空き家の増加に伴う懸念事項**などが話されていた。
- ③地域のボランティア活動などにより住み続けたいと思えるまちに
 - ・「住みやすいところ」「住みづらいところ」を踏まえ、小金井市に住み続けるために自分たちに出来る取り組みとして、Aグループではコミュニティに関する項目が多く、ボランティア活動や若者でも参加しやすいコミュニティ作りなどの**若者との連携に関する内容**が挙げられた。
 - ・Bグループでは、Aグループと同様にコミュニティに関する項目が多く挙げられた他、**空き家活用など、住宅のハード面に目を向けた取り組み**も挙げられた。
- ④「他団体との協力が必要な取り組み」としては、**空き家の活用、社会的企業の創業**など
 - ・小金井市に住み続けるために、「他団体との協力が必要な取り組み」として、Aグループでは、**既存ストックの活用に関する項目**が挙げられた。
 - ・Bグループでは**空き家の活用や市内事業者の協力**などに関する内容が挙げられた。

■意見出しの様子



■意見まとめシート



分析

- ・意見のまとめで挙げられた課題の中には、これまでに小金井市で実施している取り組みもある。
- ・挙げられた意見の中でも、防犯に関する取り組み、空き家の管理・活用、コミュニティ活動の支援、障害者・高齢者への居住支援など、**都の施策、他自治体の計画等の事例**などをみながら検討していく必要がある。

まとめ

- ・ワークショップを通じて聴取できた市民の意見を踏まえて、課題を整理し、施策として対応できる項目については、国や都の政策動向や社会情勢等も踏まえ検討していく。